

〔執筆者紹介〕（掲載順）

安藤文雄（あんどうふみお） 公文書館専門研究員

清水太郎（しみずたろう） 公文書館専門員

伊藤 康（いとうやすし） 公文書館専門員

田村達也（たむらたつや） 公文書館専門員

〔編集後記〕

平成一八年度も『研究紀要』第三号をお届けできることになりました。今号より、受益者負担の観点から有償頒布といたしました。どうか、御了承ください。

さて、今年度は、九月一二日の「とっとり県民の日」にあわせて、第一回公文書館巡回講座を実施しました。地域の中に積極的に出て行くことで、当館の活動について御理解いただくことを目指したものでしたが、倉吉市の御協力を得て、無事五日間の講座を終えることができました。

この講座の開催にあたって注意したことは、単なる歴史講座ではなく、資料保存の重要性を広く認識していただくこと、県政一三〇年の歩みを跡づけることができるような話題を提供することでした。幸いにも、受講者の方々から、「公文書の意義、保存の必要性など判り易く解説していただ

き、認識を新たにしました。（男性）」「申込みもせず、とび込みで入りましたが、非常に感心を持たされ、全講座出席しました。今後共講座を希望致します。（女性）」等々、ありがたい御意見を頂戴しました。

『研究紀要』第三号を執筆した四名は、この巡回講座の講師を務めました。講座内容を深めて編集した本紀要が、あらためて生涯学習の一助となれば、望外の喜びです。

（〇七・二一・八 伊藤ヤ）

鳥取県立公文書館研究紀要 第三号

平成一九（二〇〇七）年三月三日 発行

編集・発行 鳥取県立公文書館

〒六八〇一〇〇一七

鳥取市尚徳町一〇一

TEL 〇八五七―二六―八一六〇

印刷 有限会社 蛍光社